

トラック輸送情報（平成22年10月分）

平成23年1月25日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：中野、金子、菊池 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

調査対象26社の本月の輸送量は、5,642,530トンで、前月と比べ総輸送量が約12万トン増加したため、前月比102.2%（季節調整済み97.1%）となり、前年同月との比較では、約31万トン減少したため、前年同月比94.8%の実績であった。

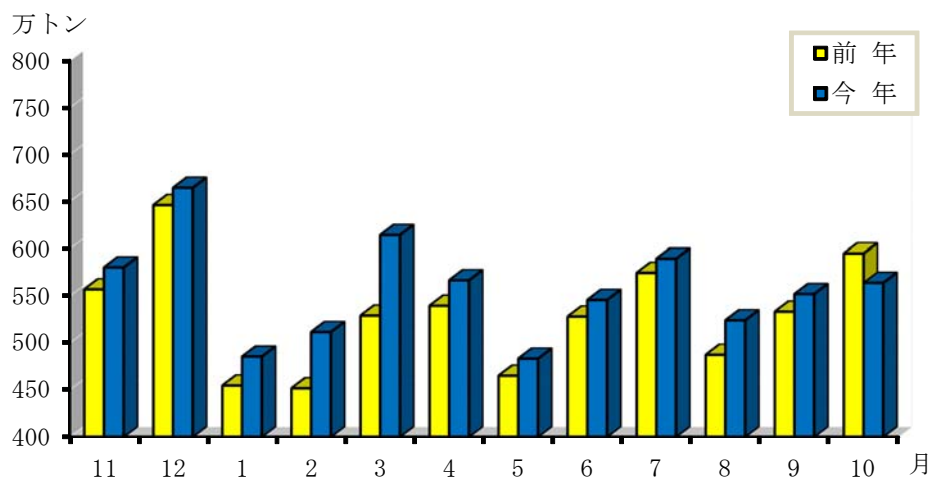
なお、平均稼働日数は24.1日で、前月と比べ0.6日増加し、前年同月との比較では、0.8日減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、234,130トンで、前月と比べ約1千トン減少したため、前月比99.6%となり、前年同月との比較では、約5千トン減少したため、前年同月比97.9%の実績であった。

（図1-1、図1-2参照）

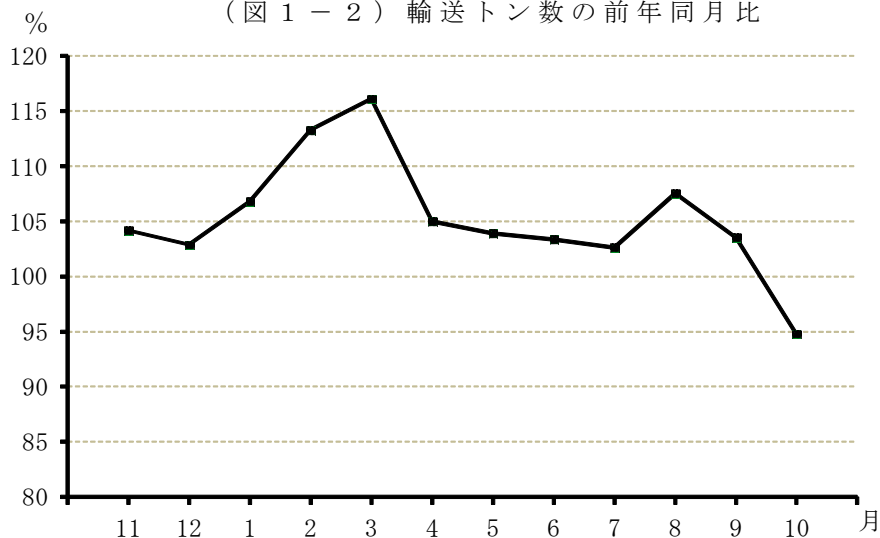
注）平成22年7月から貨物輸送の調査対象については、1社減り、26社となった。

前月比及び前年同月比は、26社ベースで比較している（図1-1及び図1-2は26社ベースで作成）。

（図1-1）輸送トン数の推移



（図1-2）輸送トン数の前年同月比



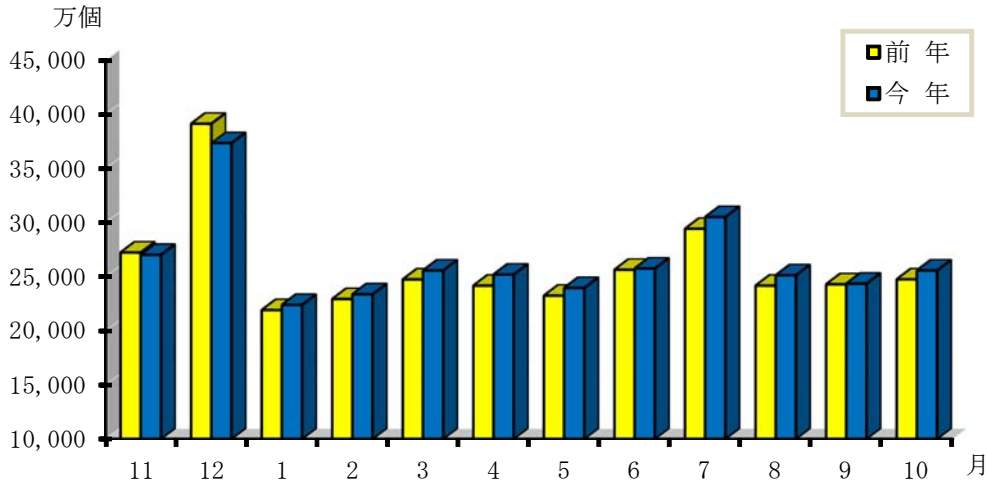
(2) 宅配便の概況

調査対象 17 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、255,897 千個で、前月と比べ 約 1,222 万個増加したため、前月比 105.0% (季節調整済み 103.3%) となり、前年同月との比較では、約 826 万個増加したため、前年同月比 103.3%の実績であった。

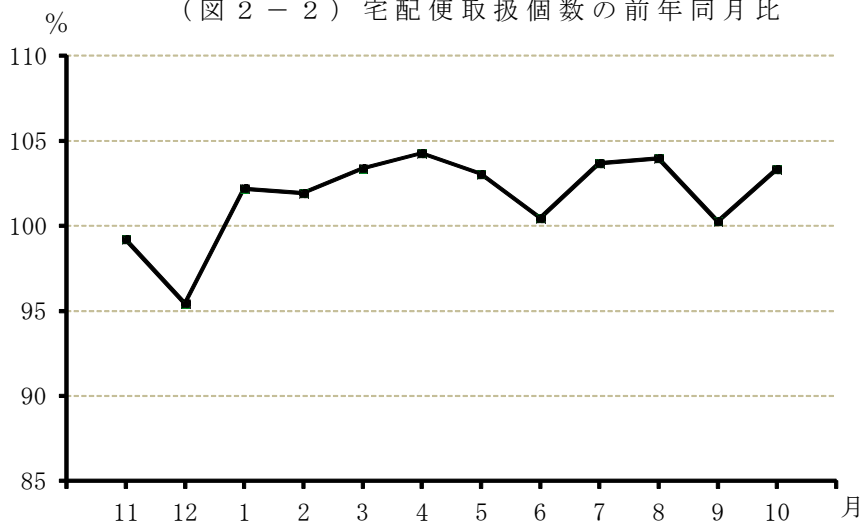
(図 2-1、図 2-2 参照)

注) 平成 22 年 7 月から宅配便輸送の調査対象については、事業承継により 1 社減り、17 社となった。

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、いくつかの品目で、輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。増加要因としては、工場・生産地からの貨物増が「繊維工業品」、「食料工業品」等で見られた。「繊維工業品」、「食料工業品」の主な増加地域は東京、中部等であった。

前年同月と比べると、ほぼすべての品目で、輸送量が減少したと回答する事業者が多かった。減少要因としては、工場・生産地からの貨物減が「化学工業品」、「繊維工業品」、「その他 (百貨店配送品)」で見られた。「農水産品」、「化学工業品」、「繊維工業品」、「食料工業品」、「日用品」の主な減少地域は、関東等であった。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数				主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※増減要因		
	著増	増	変らず	著減					
前月に比べて	農水産品	2	2	13	1				
	金属製品		1	20					
	機械		4	14	2	1	電気機械 機械部品	大阪 7	
	化学工業品		3	16	3				
	繊維工業品		4	17	1		東京、中部地方	4	
	食料工業品		4	13	3	製造食品	東京、中部、大阪、近畿	4	
						飲料、その他の食料工業品	関東	7	
	日用品		5	12	5	その他の日用品	東北、東京、関東、北陸信越、愛知、近畿地方	5	
書籍・印刷物									
その他	1	4	14	3		関東地方、全国	8		
					百貨店配送品		2		
前年同月に比べて	農水産品	1	2	10	4	1	野菜、果物	東北、関東	
	金属製品	1	2	14	4				
	機械		2	15	4				
	化学工業品		3	12	7		合成樹脂	神奈川、関東、中国	4, 7
	繊維工業品		2	17	3			関東	4
	食料工業品		1	14	5	飲料、その他の食料工業品	関東	7	
	日用品		2	12	6	2	書籍・印刷物	北海道、東北、東京、関東、近畿	4, 5, 7, 9
その他	3	3	9	5	2	百貨店配送品		2, 4	

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらを除く府県、九州は沖縄を含む)]単位である。
なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

※増減要因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 795 社／調査対象事業者数 1,088 社）の輸送量は、前月比 104.2%、前年同月比 99.1%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北 信	陸 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前 月 比	104.2 %	114.7 %	105.4 %	97.8 %	104.6 %	99.2 %	98.7 %	98.6 %	102.8 %	97.6 %	108.0 %	
前年同月比	99.1 %	96.7 %	104.5 %	96.5 %	101.5 %	100.1 %	101.9 %	98.5 %	100.0 %	96.1 %	95.2 %	

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比 114.7%、対前年同月比 96.7%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「その他の農産品」、「水産品」等が、工場・生産地からの貨物増等により「紙・パルプ」等が、それぞれ増加したと回答する事業者が多かった。一方、建設関連の需要減等により「工業用非金属鉱物」等が、工場・生産地からの貨物減等により「石炭」等が、季節的需要減等により「動植物性飼・肥料」等が、それぞれ減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は減少傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 105.4%、対前年同月比 104.5%であった。品目別には、季節的需要増等により「穀物」等が増加したと回答する事業者が多かった。一方、天候の影響により「野菜・果物」が減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 97.8%、対前年同月比 96.5%であった。品目別には、季節的需要増等により「動植物性飼・肥料」が増加したと回答する事業者があった。一方、工場・生産地からの貨物減等により「紙・パルプ」が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月は増加傾向、以降はほぼ横ばいと予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、対前月比 104.6%、対前年同月比 101.5%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「金属製品」等が増加したと回答する事業者が多かった。一方、季節的需要減等により「食料工業品」等が減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は減少傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 99.2%、対前年同月比 100.1%であった。品目別には、商社・問屋からの貨物増等により「取り合せ品」が増加したと回答する事業者があった。一方、「その他の化学工業品」、「その他の製造工業品」等が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は減少傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 98.7%、対前年同月比 101.9%であった。品目別には、季節的需要増等により「その他の化学工業品」、「日用品」等が、景気回復の兆し等により「金属製品」等が増加したと回答する事業者があった。一方、輸出入の貨物減等により「機械」、「繊維工業品」が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比 98.6%、対前年同月比 98.5%であった。品目別には、輸出入の貨物増等により「その他の化学工業品」等が、景気回復の兆し等により「砂利・砂・石材」等が、それぞれ増加したと回答する事業者が多かった。一方、「食料工業品」等が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月は減少傾向、以降はほぼ横ばいと予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 102.8%、対前年同月比 100.0%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」等が増加したと回答する事業者が多かった。一方、季節的需要減等により「輸送用容器」等が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 97.6%、対前年同月比 96.1%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「木材」、「砂利・砂・石材」等が、季節的需要増等により「野菜・果物」等が、それぞれ増加したと回答する事業者が多かった。一方、工場・生産地からの貨物減等により「工業用非金属鉱物」等が、不況の影響等により「セメント」等が、それぞれ減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、台風の影響があったものの、対前月比 108.0%、対前年同月比 95.2%であった。品目別には、季節的需要増により「その他の農産品」、「水産品」が増加したと回答する事業者があった。一方、輸出入の貨物減等により「金属くず」、「その他のくずもの」が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局		北	東	関	北	中	近	中	四	九	沖	全
		海	道	北	東	陸	信	部	畿	国	国	州	縄	計
1. 穀物	増	3	9			1				1		1		15
	減	1				2				1		1	1	6
2. 野菜・果物	増	6	1			1			1	1	2	11		23
	減	3	2			1				1		1		8
3. その他の農産品	増	7				1				1		1	1	11
	減	1												1
4. 畜産品	増										1			1
	減	1								1		1		3
5. 水産品	増	3	1			1			1			1	1	8
	減	1				1						1		3
6. 木材	増	2	2			2	1					4	1	12
	減	4	1											5
7. 薪炭	増													
	減													
8. 石炭	増	1	1											2
	減	3												3
9. 金属鉱物	増													
	減											1		1
10. 砂利・砂・石材	増	7				1				4		5		17
	減	6	2							2				10
11. 工業用非金属鉱物	増		1				1							2
	減	2	1							1		2		6
12. 鉄鋼	増	2							1	3		1		7
	減	2				1				2	1	1		7
13. 非鉄金属	増											1		1
	減													
14. 金属製品	増		1	1	4			3	2	2	1	1	1	14
	減		1		1			2	1			2		7
15. 機械	増	1	1		3	1			2			4		12
	減		1	1	2	1	1	1	1	1	3	1		12
16. セメント	増	4	1		2	2				1				10
	減	4	1		1							7		13
17. その他の窯業品	増	2		1						1				4
	減		1							1				2

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
18. 揮 発 油	増	1	1	1	1							4
	減	1							1			2
19. その他の石油製品	増	1	2		2			1		3		9
	減		1		2				1			4
20. コークス・ その他の石炭製品	増				1							1
	減											
21. 化学薬品	増	1	2									3
	減				1					2		3
22. 化学肥料	増	1					1			1		3
	減	1			1			1		1	1	5
23. その他の化学工業品	増						2	3				5
	減		1			1		1				3
24. 紙 ・ パ ル プ	増	2	2		1	1	2		2		1	11
	減			1		1				3		5
25. 繊維工業品	増							1				1
	減				1		1		1	1		4
26. 食料工業品	増	2	5	2			2	1	3	5		20
	減	1	3	2	3		1	3	3	5		21
27. 日 用 品	増	1	1	1		1	2	1		2		9
	減	2		1				1		1		5
28. その他の製造工業品	増		1	1			1	1		3		7
	減					1				1		2
29. 金 属 く ず	増											
	減										1	1
30. その他のくずもの	増											
	減									1	1	2
31. 動植物性飼・肥料	増	1	2	3					1	2		9
	減	6								2		8
32. 廃 棄 物	増	1	1						1	1		4
	減											
33. 輸 送 用 容 器	増				1							1
	減	1	1						1	1		4
34. 取 り 合 せ 品	増	1	2			1		1			2	7
	減		1					1		1		3
35. そ の 他	増		1	2	1		1	3		2		10
	減		3	2				1		1		7